

学習過程		自己学習力 相互交流力	問題解決力 (能力・態度)	算数的コミュニケーション力(能力・態度)	
				聴く(理解力)	説明する(表現力)
課題把握	つかむ	興味・関心・意欲 (自己目標設定力) (共に学ぶ力)	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、数量や図形など興味・関心をもてず、学習の整理及び習得した事柄の想起ができず、既知の学習との違いも分からず、本時の課題が決められない。学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定なしに問題に取りかかる。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、数量や図形などに興味・関心を持ち、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定ができ、解決への意欲をもつことができる。</p> <p>・ステップ 3 数量や図形などに興味・関心を持ち、自力で学習の整理(様々な問題を作る。→既知と未知の学習に分ける。→本時の問題を定める。)及び習得した事柄の想起や課題の設定(①既習の問題と提示された問題との違いに気付いて、②既習の問題を想起し違いに気付いて、③学習の整理から違いに気付いて)ができ、解決への意欲をもつことができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話を聴こうとせず、自分だけで解こうとする。</p> <p>・ステップ 2 友達のかかわりに興味・関心をもつことに気付いているが、共感的な仕草は身に付いていない。教師のかかわりによって、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話を聴くことができる。</p> <p>・ステップ 3 共感的な仕草(体の向き、相づち、表情、目線等言語&非言語ライフスキル)で学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話を聴くことができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話の中で自分の考えを説明せず、自分だけで解こうとする。</p> <p>・ステップ 2 友達に分かりやすく説明することの大切さに気付いているが、共感的な仕草や伝えやすさ(演示、操作、図示、対比等)を工夫して、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話の内容に沿って、自分の考えを説明することができる。</p>
			<p>・ステップ 1 自分なりの解決に取り組む。しかし、教師のかかわりによっても、既習の学習から類推して見通しをもつことができないので、行き詰まった場合に、原因を考えない。そして、今までの失敗経験から自己否定感をもっているため、解決することをあきらめてしまう。また、結果について検討しないので、誤りも放置してしまう。たとえ解決できても、他の解き方を考えようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、見通しをもち、最後まであきらめずに解決し、解決した感動を味わうことができる。そして、他の解き方を試み様々な観点から多様な解決ができる。</p> <p>・ステップ 3 解決の方法や結果について、既知の学習から類推し、見通しをもち、最後まであきらめずに解決し、自力で解決した感動を味わうことができる。たとえ、解決に行き詰まっても、今までの成功経験から自己肯定感をもっているため、決してあきらめず、自分を励まして、原因を考えたり、観点を変更したりして解決することができる。そして、1つの方法で解決できたときは他の解き方を試み、様々な観点から多様な解決ができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、行き詰った場合に、友達や教師の助言を聴いて原因を探ったり、解決の糸口を見つけたりしようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 友達のかかわりに興味・関心をもつことに気付いているが、共感的な仕草は身に付いていない。教師のかかわりによって、解決の見通しをもち、行き詰った場合に、分からないところを尋ねたりできる。</p> <p>・ステップ 3 自分から友達や教師にかかわりをもち、多様な解決の糸口を見つけようと、共感的な仕草で、友達に尋ねることができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、行き詰った場合に、友達や教師に自分の解き方について尋ねられても、説明しようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 友達に分かりやすく説明することの大切さに気付いているが、共感的な仕草や伝えやすさ(演示、操作、図示、対比等)を工夫して、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話の内容に沿って、自分の考えを説明することができる。</p> <p>・ステップ 3 自分から友達や教師にかかわりをもち、共感的な仕草や伝えやすさを工夫して、自力で解決できていない友達や、多様な解決ができていない友達に自分の解き方を説明することができる。</p>
実行	見通す 解く	思考・活動・感動 (創造的解決力) (自分自身を励ます力) (達成感) (共に学ぶ力)	<p>・ステップ 1 自分なりの解決に取り組む。しかし、教師のかかわりによっても、既習の学習から類推して見通しをもつことができないので、行き詰まった場合に、原因を考えない。そして、今までの失敗経験から自己否定感をもっているため、解決することをあきらめてしまう。また、結果について検討しないので、誤りも放置してしまう。たとえ解決できても、他の解き方を考えようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、見通しをもち、最後まであきらめずに解決し、解決した感動を味わうことができる。そして、他の解き方を試み様々な観点から多様な解決ができる。</p> <p>・ステップ 3 解決の方法や結果について、既知の学習から類推し、見通しをもち、最後まであきらめずに解決し、自力で解決した感動を味わうことができる。たとえ、解決に行き詰まっても、今までの成功経験から自己肯定感をもっているため、決してあきらめず、自分を励まして、原因を考えたり、観点を変更したりして解決することができる。そして、1つの方法で解決できたときは他の解き方を試み、様々な観点から多様な解決ができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、行き詰った場合に、友達や教師の助言を聴いて原因を探ったり、解決の糸口を見つけたりしようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 友達のかかわりに興味・関心をもつことに気付いているが、共感的な仕草は身に付いていない。教師のかかわりによって、解決の見通しをもち、行き詰った場合に、分からないところを尋ねたりできる。</p> <p>・ステップ 3 自分から友達や教師にかかわりをもち、多様な解決の糸口を見つけようと、共感的な仕草で、友達に尋ねることができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、友達のかかわりに興味・関心をもてず、行き詰った場合に、友達や教師に自分の解き方について尋ねられても、説明しようとしなない。</p> <p>・ステップ 2 友達に分かりやすく説明することの大切さに気付いているが、共感的な仕草や伝えやすさ(演示、操作、図示、対比等)を工夫して、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話の内容に沿って、自分の考えを説明することができる。</p> <p>・ステップ 3 自分から友達や教師にかかわりをもち、共感的な仕草や伝えやすさを工夫して、自力で解決できていない友達や、多様な解決ができていない友達に自分の解き方を説明することができる。</p>
			<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、他の解き方と比較検討しようせず、それぞれの問題点、共通点、相違点、よさを理解することができない。</p> <p>多様な解き方について、教材のねらい(分類整理、統合、選択)に沿って、筋道を立てて考えを高めることができる。そして、数理的な処理のよさ(知恵)が分かった感動を味わうこともできない。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、多様な解き方を比較検討して、それぞれの考えの問題点、共通点、相違点、よさを理解することができる。</p> <p>多様な解き方について、教材のねらい(分類整理、統合、選択)に沿って、筋道を立てて考えを高めることができる。そして、数理的な処理のよさ(知恵)が分かった感動を味わうことができる。</p> <p>・ステップ 3 多様な解き方を比較検討して、それぞれの問題点、共通点、相違点、よさを理解することができる。</p> <p>多様な解き方について、教材のねらい(分類整理、統合、選択)に沿って、筋道を立てて考えを高めることができる。そして、数理的な処理のよさ(知恵)が分かった感動を味わうことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを共通点、相違点に着目して分類整理する。 考えの共通点に着目して集合的に統合する。 簡潔化、一般化の考え方によって、よりよい考えを選んでいく。 	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、話し合いへの参加に興味・関心をもてず、友達のかかわりに興味・関心をもてず、それぞれの解き方の問題点、共通点、相違点、よさを、数理的な処理のよさ(知恵)を理解することができない。</p> <p>・ステップ 2 友達のかかわりに興味・関心をもつことに気付いているが、共感的な仕草は身に付いていない。教師のかかわりによって、それぞれの解き方の問題点、共通点、相違点、よさを、数理的な処理のよさ(知恵)を聴くことができる。</p> <p>・ステップ 3 話し合いへの参加意欲が高く、共感的な仕草(言語&非言語ライフスキル)で、友だちの考えの真意(聞いてもらいたいこと)を尋ねて、それぞれの解き方の問題点、共通点、相違点、よさを数理的な処理のよさ(知恵)を聴き、共感することができる。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、話し合いへの参加に興味・関心をもてず、それぞれの解き方の問題点、共通点、相違点、よさを、数理的な処理のよさ(知恵)を説明することができない。</p> <p>・ステップ 2 友達に分かりやすく説明することの大切さに気付いているが、共感的な仕草や伝えやすさ(演示、操作、図示、対比等)を工夫して、学習の整理及び習得した事柄の想起や課題の設定をしている話の内容に沿って、自分の考えを説明することができる。</p> <p>・ステップ 3 話し合いへの参加意欲が高く、共感的な仕草や伝えやすさを工夫して、それぞれの解き方の問題点、共通点、相違点、よさを、数理的な処理のよさ(知恵)について説明することができる。</p>
発展	意欲 つなぐ	(自己評価力) (自己目標設定力) (共に学ぶ力)	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、自分の解決の成果と問題点を省みることができず、高め合うこともできない。次の学習の内容も考えることができず、自ら学ぼうとする意欲は、一層低下している。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、自分の解決の成果と問題点や、次の学習の内容が分かり、これからも意欲的に学習しようと思う。</p> <p>・ステップ 3 自ら、自分の解決の成果と問題点が分かり、次の学習の内容を考えて、自ら学ぼうとする意欲を高めている。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、自分の解決の成果と問題点を省みることができず、高め合うこともできない。次の学習の内容も考えることができず、自ら学ぼうとする意欲は、一層低下している。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、自分の解決の成果と問題点や、次の学習の内容が分かり、これからも意欲的に学習しようと思う。</p> <p>・ステップ 3 自分の解決のよさや、友達との学習のよさを肯定的にとらえており、自信に溢れ、次の学習でも、共感的な仕草や伝えやすさを工夫して、自分の考えを説明して、共に学ぼうと思う。</p>	<p>・ステップ 1 教師のかかわりによっても、解決に行き詰まったり、自分の解決が集団での高め合いに結びつかなくなったりしているため、自己否定感が強くなり、友達との学習のよさが分からず、次の学習で、友達に自分の考えを説明する意欲ももてない。</p> <p>・ステップ 2 教師のかかわりによって、自分の解決のよさや友達との学習のよさが分かり、次の学習でも自分の考えを説明して、共に学ぼうと思う。</p> <p>・ステップ 3 自分の解決のよさや、友達との学習のよさを肯定的にとらえており、自信に溢れ、次の学習でも、共感的な仕草や伝えやすさを工夫して、自分の考えを説明して、共に学ぼうと思う。</p>